

# 中部フィルハーモニー交響楽団 創立20周年記念コンサート



秋山 和慶 (指揮)

Kazuyuki Akai, Conductor

1941年7月、京都府京都市で指揮法を修め、1963年に桐朋学園大学音楽学部を卒業。1961年2月に東京交響楽団を指揮してデビューののち、同団の音楽監督・常任指揮者を40年間にわたり務める。その間、アメリカ音楽監督、パンクパー音楽監督(現在桂川指揮者)、シラキユース音楽監督などを兼任。また、ニューヨーク・フィル、ボストン響、クリーヴランド響、シカゴ響、ケルン牧管、ベルリン牧管、北ドイツ牧管、スイス・ロマン管など世界の一流オーケストラに客演している。

これまでにサントリー音楽賞、芸術選奨文部大臣賞、大阪芸術賞、毎日芸術賞、朝日芸術賞、東京都音楽賞大賞などを受賞。2001年芸術選奨、2011年旭日小綬章を受章。2011年度文化功労者に選出。

現在、中部フィルハーモニー交響楽団芸術監督・首席指揮者、日本センチュリー交響楽団ミュージックアドバイザー、東京交響楽団桂冠指揮者、広島交響楽団終身名誉指揮者、九州交響楽団桂冠指揮者など多くの任を委ねられるほか、洗足学園音楽大学芸術監督・特別教授、京都府立芸術大学客員教授を務めている。

## 竹澤 恭子 (ヴァイオリン)

Ayuko Takezawa, Violin



OLYMPIA

桐朋女子高校音楽科在学中に第51回日本音楽コンクール第1位。1986年インディアナポリス国際ヴァイオリン・コンクールで圧倒的な優勝を飾る。

これまで、ニューヨーク・フィル、ボストン響、ロンドン響、ライプハイム・ゲヴァントハウス管、ロイヤル・コンセルトヘボウ管などと、また、マズア、メータ、デュトワ、小澤征爾他、多くの名指揮者とも世界の権威舞台上で共演している。2014年には東京フィル100周年記念ワールドツアーのソリストを務めた。最近では永戸室内管弦楽団、セイジ・オザワ松本フェスティバルへも参加、しいきアムグリッチハウス レジデントアーティスト。

2018年シーズンはデビュー30周年を迎え、各地でリサイタルツアーを成功させた。使用楽器は、1724年製アントニオ・ストラディヴァリウス。

現在、東京音楽大学教授、桐朋学園大学特任教授。  
オフィシャルホームページ <http://www.lykocutezawa.com/>



## 都築 山理江 (オルガン)

Yurie Tazuma, Organ

愛知県豊田市出身。15歳より豊田市コンサートホールオルガン教室にてオルガンを始める。東京藝術大学音楽学部器楽科オルガン専攻卒業。同大学院音楽研究科修士課程修了。これまでにオルガンを独奏第一、騎野創進、他岡のちのちの各氏に、チェンバロを大塚直道氏に、通奏低音を椎名耕一郎氏に師事。愛知県芸術劇場コンサートホールでの同公演を企画・出演する。大学院在籍中より渡辺し、ウィーン国立音楽大学にてオルガンをP.D.ベレンツァ氏に師事。2016年、同大学オルガン科修士課程を満場一致の最優秀の成績で修了。17年、イタリアのヒストリアで開催された第3回アガティ・ロンチ国際オルガンコンクール第2位。

現在、NHK文化センター名古屋教室講師。2018年11月より愛知県芸術劇場オルガニストに就任。(一社)日本オルガニスト協会会員。

## 中部フィルハーモニー交響楽団

Chubu Philharmonic Orchestra

中部フィルハーモニー交響楽団は、2000年に愛知県小牧市で小牧市交響楽団として発足した。その後、2005年の愛知万博に出演するなど活動を経て、2007年に広く中部地域の音楽文化に貢献するため「中部フィルハーモニー交響楽団」と改名した。その2007年からは演奏域を広げ、愛知県小牧市以外の愛知県名古屋、愛知県犬山市、三重県松阪市、岐阜県岐阜市で新たに定期演奏会や定期的なコンサートを毎年開催し、2017年にはそれらの演奏会が10年目となり通算100回を数え、各地域の音楽文化振興に貢献してきた。2015年には創立15周年となり、またアーティスト・イン・レジデンスの秋山和慶が指揮者生活30周年を迎えたことから、これを記念してマラーの交響曲第2番「復活」を愛知県芸術文化センター・コンサートホールで満員の聴衆のもと開催し、その演奏は高い評価を得た。2017年度からは秋山和慶が新たに芸術監督となると共に、名古屋定期演奏会の回数を増やして「ブラームス・ツィクルス」を2年間4回でスタートし、充実かつ熱のこもった演奏を行い、好評を博した。その時のライブ録音は「ナクソス・ミュージック・ライブラリー」で世界配信されている。なお2021年度からは16回の定期演奏会をNAGAYAシリーズ3回、KOMAKIシリーズ3回と同じ名古屋と小牧に一層軸足を置くと共に、特別演奏会を小牧市1回の他、岐阜市、松岡市で開催し、引き続き中部圏各地域での音楽文化振興に寄与していく。定期演奏会では1人の作曲家にフォーカスしたプログラムも注目されている。また2018年10月には名古屋フィルハーモニー交響楽団461回定期演奏会にてマラー作曲「千人の交響曲」に出演し、名フィルとともに見事な演奏を飾った。

受賞歴としては愛知県芸術文化選奨新人賞を受賞。2017年12月に「多年にわたり地方自治の発展に尽力したその功績は誠に大である」として愛知県庁より感謝状を授けられた。

2020年11月から首席客演指揮者に他任就任を迎え、さらなる飛躍を目指す。本拠地は愛知県小牧市。



### アクセス ACCESS

### 愛知県芸術劇場

7461-8525  
名古屋市中区東一丁目13番2号  
TEL.052-971-5609

- 【地下鉄】東山線または名城線「東」駅下車徒歩3分  
(ナクソス21から地下道直通路または2F連絡通路向)
- 【有 車】瀬戸線「東山」駅下車徒歩2分  
(ナクソス21から地下道直通路または2F連絡通路向)
- 【名高速】名古屋環状線「東山町」出口から3分 ●平日10時～20時